

8. 学生生活について

(3) あなたが現在の学生にアドバイスをするとしたら、次のような大学時代の学習や経験をどの程度すすめますか。

総合科学部

- ・ 体育会の部活動の参加は将来活きると思う。
- ・ 興味のあることに幅広く取り組むのがいいと思います。総合科学部だったこともあります。自分と関わりのありそうな分野を幅広く履修していたおかげで、卒業後により深く学びたい時にハードルが下がりました。
- ・ 教えてくださいと、タダで大人に教えてもらえるボーナスタイム。学生の友人関係は一生ものだが、中高生みたいな同世代だけの馴れ合いではなく、社会人との関わりに広げることも、役に立つと思う。
- ・ 社会人になったら十分な時間が取れないことも多いので、学生時代のうちに旅行に行ったり、自主的に勉強して知見を広げたり、さまざまな経験を積んでほしいです。
- ・ 学業、サークル、ボランティア、アルバイト、どのような形でも良いので、学内、学外両面における直接的な人との関わりを作ることが大事
- ・ やりたい事は惜しまずやり、幅広い人や多様な価値観に触れ、自分なりの判断基準の軸を培っておくのが良い。
- ・ 楽しんでください

文学部

- ・ 学生である以上、学業第一であることは言うまでもないが、自分で敷いたレールの上を自ら走ることができるスタートがこの大学時代であることから、今後なかなか経験することのできないサークル活動やボランティア活動、海外留学にも積極的にチャレンジしてほしいと思う(自らの失敗から…)。授業だけではなかなか身につかないコミュニケーション能力も高められると思う。
- ・ 学業第一、授業は皆勤して当然。他の活動との

優先順位を間違えてはいけません。

- ・ 授業や実習には参加していたが、オリキャン、サークル、アルバイトに時間を費やしていたため、それ以上の自主的な学習は少し怠っていた。卒論の時期になって、せっかく大学に来たならもう少し真面目に研究に取り組めば良かったと少し後悔している。アカデミックなことに時間を割けるのは学生の特権だと思う。
- ・ サークルでも勉強でも、とにかく打ち込めるものをみつける。友達を作る。その人は後々の人生に大きく関わる。本を読む。いましか読めない。
- ・ 実務や情報学習やプレゼンなど、社会人になってから学べるようなことはわざわざ広島大学で学ぶ必要はありません。結局、会社や上司によってやり方は様々なので、大学で学んだ方法を彼らが肯定してくれるとは限りません。それに、学力があれば小手先のビジネススキルなど後からいくらかでも身に付きます。それよりも、広島大学でしかできない専門分野の学び、好きなことに没頭できるサークル活動、一生ものの友人関係など、今しかできないことをぜひ経験して、真の「学ぶ力」を身につけてください。一生役に立ちます。
- ・ これならやれる！と思える学術分野は、必ずどこかにあります。それをとにかくやってみてください。そして、学術的手続を大学で習い、それを実践してください。
- ・ 学生時代は何と言っても時間がたくさんある。そして学生という身分が使える最後のチャンス。それらを武器にして、思いついたアイデアで団体を作るとか、海外留学に行くとか、そういう「今しかできない」経験をたくさんしてほしい。そこに目を向けがちだが、同じくらい授業への参加も積極的に取り組んで欲しい。学術的、専門的な知識を得られる場は社会にでるとなかなかない。自分はアルバイトばかりしていたが、お金は奨学金で賄って、もっと時間を大切にすればよかったと思う。
- ・ 留学はいつでもできることではないのでしたら

卒業生から後輩に伝えたいこと

よかったと後悔しています。なので検討される方には是非経験してほしいです。

- 自分の興味がある、楽しいと思えることに何でも全力で臨んでほしいと思います。その中で文学や歴史や時事に触れる機会があれば積極的に関わってみてください。
- **START** プログラムをきっかけに学生生活が一変し、とても充実した4年間を過ごせました。海外に関係する専攻ではないし...と初めは尻込みしていたのですが、サポートの充実している**START** プログラムに参加して本当に良かったと思っています。これからもどの学部の子でもチャンスのある、素晴らしい企画を期待しています。

教育学部

- 人生で1番大切な時間になると思います。
- 可能な範囲で良いので、人と沢山関わることに。とにかく何でもチャレンジしてみることに。
- 勉強はいつでもいつからでもできる。人との出逢いがかけがえのない財産となる。
- 役に立つ役に立たないかを基準にするよりも、自分の興味や関心を軸にしながら、生活も勉強も楽しみながらやったらいいんじゃないかと思っています。
- ボランティアはしたい人がすればいいと思う。やりたくないのにやらなきゃいけないものでもないと思う。ただ、専門科目の授業や、最低限の教養をつけるための授業はもう少し真剣に受けておけばよかったと感じている。特に専門科目と将来やりたい職業が直結している人は。
- アルバイトは成果が見えやすいですが、金銭面が苦しくなければ、自分の時間を部活やボランティア、読書など興味のある分野にあててよかったなど、卒業後振り返れば、そう思います。
- 授業、ゼミに真剣にとりくむことはもちろんですが、自分の時間を自由に費やせるのは大学生だからこそだと思うので、サークル活動・アルバイトなど多くの人と関わる活動に積極的に参加することをおすすめします。就職活動で役に

立ちますし、なにより社会人経験と似た要素が多いので、学生から社会人のギャップが埋めやすいと思います。

- 周りに左右されず、自分を大切にしたい行動をしてほしいです。
- 大学のうちは沢山時間があるので、本を読む、資格を取ってみる、海外へ行ってみるなど、社会人になってから時間を割けないことをやって欲しい。働いてからは勉強をする機会もなかなかないので、身につけられるうちに多くの知識や経験を得てほしい。
- 学問は最高の遊びであるという言葉の意味が、卒業してよく分かります。
- 学生のほとんどが一人暮らしをしていたため友人との交流が深かったと思う。田舎でしか味わえない自然に囲まれた生活は今思うと良かった。学科、バイト先、サークルなど様々なコミュニティで出会った友人は一生の宝だと思うので大切にしてほしい。ただ社会人になると日々の仕事に追われるので勉強はできる限りした方がいいと思う。特に外国語はもっと勉強しておけばよかったと思う。遊ぶだけではもったいない！
- 教育に携わる職に就く予定であれば、ある程度の知識と常識、振る舞いや言葉遣い等のマナーは身に付けておくと役に立つ。
- 専門に関わらず、やりたいことは全てやる
- 学生生活を振り返って1番の財産は県外各地にたくさんの友人ができたこと。徒歩圏内にたくさんの友人が下宿するという環境は広大ならではのと思うので、人とのつながりを大切にしたい学生生活を送ってほしい。
- 学習一辺倒では今後の社会に於いて困ることがあると思います。勉強とその他の経験のバランスを考えておくとより良いのではないかと思います。
- コロナ禍で友人と話すことに改めて喜びを知った。同じ話題に同じ熱量で話せる友達は大切である。
- 学んだことは全ていつか活かれます。
- パワーポイント、エクセルはもっと大学時代に

卒業生から後輩に伝えたいこと

使っておけば良かったと思っています。大学を通じて言うことではないでしょうが、1番は友達と沢山遊んで思い出をしっかり作るのだと思います。

- 働き始めてから、まとまった休みを取って海外に行くという経験はなかなか難しいので、一生に一度のことと思って留学等経験しても良かったなという思いはあります。プレゼンテーションや情報機器関係の知識は、どの分野においても即戦力として若い世代に求められることかなと思うので、勉強して損は無いかと思います。
- サークルやアルバイト、ボランティアの経験は、大学生のうちにはかできないことも多く、その後の人生において思わぬところで役に立つこともあります。興味のあることややってみたくことはどんどん挑戦して、様々な経験をしていくといいと思います。
- あらゆる活動に積極的に参加してほしいです。
- 時間があるので、将来就きたい業種に近いもの、遠いものを含め、いろいろな経験をしてほしいです。特に、学校の先生になってからは、学校の先生以外の人と関わることも多いため、興味関心の幅、教養の幅、考え方の幅や視点を広げておきたかったと思うことが多いです。また、相談し合える友人を作ると心の支えになって良いと思います。
- サークルや卒業研究など、大学生だからこそ打ち込めることを行うべきだと思います。格安な留学(学割・学内研修など)も大学生のうちには得られるサービスだと思います。
- やりたいことはすべてやる勢いでなんでもチャレンジした方がいいと思います。
- 自分の専門分野だけではなく、幅広くさまざまな経験をしていくことをすすめる。
- 経験できることは積極的にすべきであると思います。
- 総合大学の魅力である、様々な学部の人たちと交流できる機会を大切にしてほしい。自分の考えを伝える力、人の話を聞く力、WordやExcelなどの情報処理能力を大学で身につけることが

できたらいいと思う。

- 自分の時間の使い方を考えて、たくさんの経験をしてほしいです。授業も、せっかく出るなら真剣に聞いて、自分のものにしてほしいと思います。
- 頑張る
- 人生の中で、自ら主体的に学び活動できる貴重な機会なであり、経験は財産なので、社会人になって時間に余裕が無くなる前に、いろいろな経験をしてほしいです。また、大学でできた友人関係は一生つづきます。
- 個人の性格に合わせて、無理なく生活すればよいと思います。
- 相手に自分の考えを端的に分かりやすく伝える能力を身につけておくべき。いくら思いが強く、頭の中に物事への情熱があっても、それを言語化して表現できなければ相手には何も伝わらないしとても歯痒い思いをする。就職などの面接でそれを痛感した。
- 大学でしか出来ないこと、今を大切にしてほしいと思います。特に大学の教職員や施設、制度などを存分に「利用」してほしいと伝えたいです。

法学部

- 友人は今も付き合いのある人が多いので大事にすべき
- 1.何事も挑戦、やってみる(できない理由を探すのではなく、できる方法を探す)2. バイトは短期で稼げるようなもので Ok(バイト漬けの生活は、得られるものが少ない)3. 一つ、これだけは突き詰めて勉強した、と言えるものをつくる
- 貴重な4年間なので、やりたいことを見つけて一生懸命頑張るって欲しいと思います。アルバイトに力を注ぎすぎるのは注意です。
- 卒業してからも学べる仕事上の知識より、余裕がある学生時代に留学に行ったり芸術に触れたり教養を大切にするといいと思います。

卒業生から後輩に伝えたいこと

経済学部

- ・結果を残すことを求められる環境に身を置くことは、卒業後非常に役立ちます。楽しそうに決めるのは全く構いませんが、「なんとなく、みんなとワイワイ楽しければいい」ではなく「技術の向上や結果を残して達成することが楽しい」という環境が素敵だと思います。
- ・授業に出ることは当然として、サークル活動やバイトを通じて多くの友人を作ることをおすすめします。
- ・少々無理ができるのも大学生のうち。その経験が社会で生きると思う。その経験が日本初の事業などに結びついたな、と思う。
- ・学生は時間がとても多く有意義に過ごせるかは全て自分にかかってきます。やりたいことを見つけるようにしてください。
- ・学生時代の貴重な時間を無駄にしないようによく考えてアクティブに過ごすの良いと思います。
- ・監査法人に転職したが、東京の大学生は在学中に資格を取り、高額なバイトをして遊んでいた。また採用直結のインターンも結構多い。地方だとそういった情報にアクセス出来ず地理的に不利だと思う。東京のインターンに参加するなどして、交友関係を広げて、情報を集めると良いと思う。
- ・友人との交遊を濃く
- ・接客業のアルバイトを経験しておくといい。社会に出て幅広い年齢層と接する際に役に立った。
- ・語学や知識、スキルをどれだけ勉強しても、社会に出て即戦力になれることは有り得ない。ただ、学生ほど学びに時間を割ける時期は今後受動的には無いので、とにかく全分野学ぶべき

理学部

- ・自分が経験していないことに対しては何とも言えませんが、何でも勉強すると良いと思います。専門的な分野を目指すなら、専門的な知識を身につける必要があると思いますが、そういう意欲があまりないのであれば、実用的な知識を身につけられるようにすると良いかと思います。

特に IT 系の知識は、その分野に進まなくてもあって損はないと思います。ただ、プログラミングというよりは、もっと体系的な知識を得られるような場に身を置くと良いかもしれません。

(例えば、アプリ開発のプロジェクトを立ち上げてリリースしてみるとか。基幹システムとネットワークの作りを学ぶとか) もちろん、プログラミングもできて損はないです。広島銀行に就職して、知識のないまま IT 部門に行きましたが、そういう知識があればもっと楽しかったかなと思いますし、その後家業を継いで大したシステムもないですが、知識があると色々楽しです。

- ・様々な目的があって大学に入学されていると思いますが、自他ともに人をないがしろにしなければ大抵ひどい流れに巻き込まれることはないと思います。

- ・サークルして、アルバイトして、友人と遊びまくるのはいいが、授業には必ず出席しましょう。
- ・能動的なアクションの回数を重ねましょう。
- ・より良い卒業論文(修士論文、博士論文)を執筆することを目標に努力すると、より充実した大学生活を送れると思います。

医学部

- ・将来(作業療法士)を見据えたアルバイトやボランティア(作業活動の手伝いなど)についてはとてもお勧めします、役立ちます。
- ・バイトと部活はするべき

歯学部

薬学部

- ・人との繋がりは社会人になっても重要です。付き合い方を学ぶためにも、積極的に学生生活を活用すべきだと思います。また製薬業界は狭いので、薬学部や医学部の先生方との交流も重要かもしれません。

卒業生から後輩に伝えたいこと

工学部

- ・学生生活を楽しみつつも、講義をまじめに受けることも大事にしてほしい
- ・サークルやアルバイトは勉強が疎かにならない程度には勧めたい。授業でわからないところは、恥ずかしがらずに友人や教員に相談しに行ってもらいたい。
- ・広島大学の外、他大学の学生との交流や社会人との交流をしてみしてほしい、それによって視野をひろげてほしい
- ・様々な友人との交流。学部内にとらわれず、他学部の人と交流が、卒業してから役に立つと思う
- ・いろいろな人と交流し、自分なりの考え方を身につけていくことが大事だと思う。特に教員の方々は特定の分野の学問を極めた方々であり、考え方に触れることは成長につながる。
- ・のんびり過ごす時間も楽しいが、余裕のある時間を色々なやりたいことに使うといいと思います。
- ・社会人になると素早く正確に情報を集め、処理することが求められる。学生時代の今を学ぶのではなく、どのように情報を集め、処理する(学習する)のかを学ぶように意識して学生生活を送るべきと思う。アルバイトは費用対効果を考えるべきと思う。(大学は学生の生活支援をもっと行うべきと思う。アルバイトの可否を生活維持のために判断しなくても良いようにする)
- ・あらゆることに挑戦してみると良い。
- ・かなり勧める。
- ・社会人になると学生時代程じっくり能力を開発する時間はなくなるため、何か一つでもやりきったという経験をしてほしい。
- ・海外留学は他国の文化に触れる貴重な機会だった。インターンシップに関しては、難しいかもしれないが、本当に就職してみたい企業に行かないと意味がないかなと思った。

生物生産学部

- ・いろんなことを経験すべき。お金はないけど、

たくさん自由な時間のある期間は社会に出てからほとんどない。

- ・大学での友人が一番気が合うし、似たような進路に進んでいるので、卒業後に仕事で直接関わるわけではないのですが、相談しやすいです。
- ・大学の卒業研究で学んだ文章の作成技術やプレゼンテーションの技術は、就職後においても業務報告など様々な場面で役にたつと思いますので、積極的に取り組んでください。また、サークル活動やアルバイトを通じて他学部の友人・知り合いと交流することは、自分自身の物事の考え方が広がりますので、学業との両立ができる範囲で取り組むことが大事だと思います。
- ・サークルや研究室の活動において、自分のできること、どのようにすればより快適になるかを考えて行動することが大切かと思います。社会に出て、そのような働きができることが求められ、学生時代にもできていた経験等はとても貴重です。